

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動状況

令和2年7月6日 7時時点

- 九州地方整備局を中心として関東、北陸、中部、近畿、中国地方整備局のTEC-FORCEを被災地に派遣。
- 本日111人のTEC-FORCEが排水活動、被災状況調査、リエゾン・JETT(気象庁)による自治体支援を実施。
更に80名程度の隊員が派遣準備中(現地の天候回復次第出発予定)。
- 7月4日より防災ヘリによる上空からの被災調査を実施。排水ポンプ車29台、照明車13台等の災害対策用機械が現地で派遣中。

・派遣人数 のべ285人・日
・災害対策用機械 のべ121台・日

リエゾンの派遣

被災した自治体に赴くことで、電話等では把握しにくい被災状況を直接把握し、自治体へのアドバイスや、関係機関との調整役として、自治体の災害対策を支援。



7月5日 自衛隊・消防等合同会議
(熊本県庁)



7月5日 被災自治体から被災状況等の聞き取り
(熊本県湯前町)

排水ポンプ車による排水活動

排水ポンプ車によって氾濫水を河川等に排出し、早期に浸水を解消することで、早期の道路啓開や生活再建に寄与。



7月4日 排水状況
(熊本県人吉市)

防災ヘリコプターによる広域被災状況調査

国が保有する防災ヘリによって、上空から短時間で広域的な浸水や土砂災害の状況を把握することで、排水、道路啓開などの応急対策や復旧活動を迅速に実施。



7月5日 はるかぜによる調査を実施



7月4日 決壊状況を確認
(熊本県人吉市)

被災状況調査

被災自治体から収集した被災状況・支援ニーズ等をもとに、自治体所管施設の被災状況調査を国が代わって実施することで、迅速な災害復旧に貢献。



7月5日 調査計画の立案



7月5日 ヘリ映像による被災箇所への抽出